医科点数表第２章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術

区分		手術	件数
区分1	ア	頭蓋内腫瘤摘出術等	0
	イ	黄斑下手術等	0
	ウ	鼓室形成手術等	0
	エ	肺悪性腫瘍手術等	0
	オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	0
区分2	ア	靱帯断裂形成手術等	14
	イ	水頭症手術等	0
	ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0
	エ	尿道形成手術	0
	オ	角膜移植術	0
	カ	肝切除術等	0
	キ	子宮付属器悪性腫瘍手術等	0
区分3	ア	上顎骨形成術	0
	イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	0
	ウ	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	0
	エ	母指化手術	0
	オ	内反足手術等	0
	カ	食道切除再建術等	0
	キ	同種死体腎移植術等	0
区分4		腹腔鏡下胆嚢摘出摘出術	1
		腹腔鏡下鼠経ヘルニア手術	1
		腹腔鏡下腸管癒着剥離術	2
		腹腔鏡下虫垂切除術	5
その他		人工関節置換術	4
		ペースメーカー移植術	0
		ペースメーカー交換術	0
		経皮的冠動脈形成術	
		急性心筋梗塞に対するもの	0
		不安定狭心症に対するもの	0
		その他のもの	0
		経皮的冠動脈ステント留置術	
		急性心筋梗塞に対するもの	0
		不安定狭心症に対するもの	0
		その他のもの	0

実績期間　2024年1月1日～2024年12月31日

医療 DX 推進体制整備加算に係る掲示

当院は、医療DXを通じた質の高い診療提供を目指しております。

- オンライン請求を行っております。
- オンライン資格確認等システムにより取得した医療情報を診察室で閲覧又は活用して診療をできる体制を実施しています。
- マイナ保険証利用を促進するなど医療DXを通じて質の高い医療を提供できるよう取り組んでいます。
- 電子処方箋の発行や電子カルテ共有サービスなどの取組を実施してまいります。

松本病院

入退院支援に係る院内掲示

当院では退院支援及び地域連携を担う部門を設置し、当該部門に十分な経験を有する社会福祉士・看護師を配置し、退院支援等を行う体制を整えています。

また、患者様が安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養生活が継続できるよう、入院早期から地域の医療機関や介護サービス事業者等と連携し、退院支援を実施しております。

入退院支援部門、各病棟の担当職員に関しましては、各病棟に掲示しておりますのでご参照ください。

松本病院

生活習慣病管理料（I)･(II）に係る掲示

国の定める診療報酬の改定により、高血圧、糖尿病、脂質異常症の治療が必要な患者様へ、2024 年 6 月から個人に応じた療養計画に基づき、より専門的・総合的な治療管理を行う「生活習慣病管理料」へ移行し診療を行っております。

患者様には個々に応じた目標設定、血圧や体重、食事、運動に関する具体的な指導内容、検査結果等を記載した「療養計画書」を元に治療を行っております。

また当院では患者様の状態に応じ、医師の指導のもと、28 日以上の長期の処方やリフィル処方せんの発行を行う場合がございます。

院長

協力対象施設入所者入院加算に係る掲示

当院は介護保険施設等に協力医療機関として定められております。

当該介護保険施設等にて療養を行っている患者の病状の急変等への対応及び協力医療機関として定められている介護保険施設等は下記になります。

・介護老人福祉施設　ひまわり園
・ケアハウス　さつき苑
・特別養護老人ホーム　鹿児の郷
・地域密着型小規模特別養護老人ホーム　第二鹿児の郷

一般名処方について

当院では後発医薬品の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みなどを実施しています。

現在、一部の医薬品において十分な供給が難しい状態が続いております。

当院より院外処方箋を発行する場合には、商品名ではなくお薬の主成分の名前（一般名）で表示している場合がございます。

これにより、お薬を受け取りになる院外調剤薬局で後発医薬品を選んでいただくことができます。

一般名で表示しているお薬は医薬品の供給が不安定な場合でも必要な医薬品を提供しやすくなります。

一般名での処方についてご不明な点やご心配なこと等がございましたらご説明いたしますので当院職員までご相談ください。

ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

松本病院

院内トリアージについて

当院では、時間外、夜間や休日に受診された患者さん（救急車で緊急に搬送された方を除く）に対して来院後速やかに緊急性を判断するため院内トリアージを実施しております。

トリアージとは看護師または医師が病状を確認させていただき診療の優先度を決めさせていただくことです。

診療にかかる料金として「院内トリアージ実施料」を算定させて頂いております。

ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

松本病院

回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準に係る院内掲示

1.　退棟患者数及び回復期リハビリテーションを要する状態の区分内訳

算出期間（2026年6月～8月）

前月までの3か月間に回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者数	60名
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装具訓練を要する状態	6名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は２肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	41名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	13名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1名
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名
高次脳機能障害	0名
上記に準ずるもの	0名

2.　リハビリテーション実績指数

算出期間（2026年3月～2026年8月）

①	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	125名
②	①のうち、リハビリテーション実績指数の計算対象とした患者数	85名
③	②の患者の退棟時のＦＩＭ得点（運動項目）から入棟時のＦＩＭ得点（運動項目）を控除したものの総和	2265点
④	②の各患者の入棟から退棟までの日数を当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和	52.7
⑤	リハビリテーション実績指数（③／④）	43.0

口腔管理連携加算に係る掲示事項

当院では、入院患者様の口腔管理を適切に実施するため、下記の歯科医療機関と歯科訪問診療に係る連携体制を構築しており、口腔内の状態の評価や口腔衛生管理、口腔機能の維持・改善に努めています。

また患者様の病状や療養状態に応じて、適切な歯科医療機関をご紹介し、継続的な口腔管理が受けられる体制を整備しています。

連携している歯科医療機関
うちだ歯科医院（加古川市加古川町）